

【三重】「日本代表のサッカーのワールドカップ(W杯)1次リーグ敗退は非常に残念だが、私に言わせれば、あれも想定内だった」



中田商事社長

中田 純一さん

た。サッカーではあらゆる事が起こり得る」と話すのは、中田商事(三重県伊賀市)の中田純一社長(51)。実弟の中田一三氏はJリ

ーグで活躍した元プロ選手で、次男の永一氏は名門・三重県立四日市中央工業高校サッカー部主将。自身も少年チームを運営するNPO(非営利組織)法人の理事長を務め、サッカーとの

サッカーは経営に通じる

い。もっと冷静に日本代表選手権で全国制覇を目指している。主将として部員120人をまとめる立場にある一方で、「スペイン、イリ、悩みを相談されることもあるが、親としてはな

関わりは深い。

『国民は保護者の感覚で、やれるはず』『勝つはず』と応援していた。燦(あお)のようなメディアの取り上げ方もあって、過剰に期待が高まった印象は否めな

健闘している。パス回しの技術や過去の実績だけで、勝ち抜けない流れになった。W杯は、その後4年生きてくると思う」

名門校主将の次男へ助言

多数輩出してきた。永一氏にもJリーグ入り、日本代表入りの期待がかかるが、「息子はまだまだ。道のりは長いが、サッカーを続け



ている限り可能性はゼロではない。最近、頼もしくなってきたが、更なる成長を見守りたい」と目を細める。